

令和5年度学校教育指導の指針

「ふるさと旭に誇りをもち、社会で活躍する人を育てる」をスローガンに、5つの「市の目指す子ども像」を重点に、児童生徒の教育に取り組んでいます。

1 ふるさと旭に誇りをもち、社会に視野を広める子ども推進する主な内容

- 豊かな自然環境や歴史、文化、産業などを生かしたふるさと教育
- 郷土と世界に目を向け、コミュニケーション能力を養う取り組み

主な取り組み

各校の交流支援や、指導主事による保幼小中の訪問と支援の実施、「学校自慢」の推進、公共施設の案内と利用促進、指導室だより「かけはし」の発行のほか、沖縄交流事業や茅野市交流事業を実施します。

2 社会の変化に対応できる確かな学力と生涯にわたり自ら学ぶ姿勢を身につける子ども推進する主な内容

- 確かな学力を育む活力ある学校づくり
- 将来の生き方や働き方につながるキャリア教育

主な取り組み

学校訪問の実施、研修会や就学相談の充実のほか、I C

T教育推進委員会を開催します。

3 豊かな人間性や道徳心をもった思いやりのある子ども推進する主な内容

- 共生社会の実現に向けた取り組み
- 体験活動と心の教育

主な取り組み

道徳教育研修会の充実、情報モラル教室への指導主事の派遣のほか、さまざまな交流活動や学校いきいきプランの活用を推進します。

4 健やかでたくましく、活力にあふれる子ども推進する主な内容

- 食育と健康・体力づくり
- 安全教育と安心して活動できる環境づくり

主な取り組み

課外活動支援事業の充実、学校給食の工夫や改善、スクールカウンセラーの配置と活用、安全・安心な施設や設備を充実させるほか「子ども110番の家」への協力を依頼します。

5 地域と関わり成長する子ども推進する主な内容

- 地域とともに歩む学校づくり
- 各種交流活動や文化・スポーツ活動および環境に関わる取り組み

主な取り組み

学校開放の支援や、地域学校協働本部や学校運営協議会の運営を支援するほか、関係機関との連携を図ります。



広報で振り返る

あの日あのときのあさひ

第8回

1992年(平成4年)5月号

このコーナーでは過去の広報を紹介し、その時代を振り返ります。

今号は広報ひかた平成4年5月号を紹介します。表紙では、西小(現在の古城小)の1年生が、交通安全教室で横断歩道を渡る練習をしている様子を紹介しています。古城小の子どもたちは、交通事故などから身を守るため、現在もヘルメットを着用して通学しています。特集記事は、萬歳町営住宅と農産物処理加工センターの完成を報じています。加工センターは、みそ作りや米の製粉などができる施設で、たくさんの市民に利用されています。



特集記事

平成4年の主な出来事

- 宇宙飛行士・毛利衛さんが宇宙へ出発
- 東海道新幹線「のぞみ」が運転開始

一田 広報

ひかた



よく確認して渡ろうね

西小の1年生は、押しボタン式信号機で横断の練習です。信号が青になって、右・左を確認して渡ります。横断途中も、確認しながら、すばやく渡りましょう。

平成4年

5月号

人口	9,028人(±0)	男	4,453(±3)	女	4,565(±3)
世帯数	1,912世帯(±5)				
平成4年4月1日現在	内は前月との比較	〒280-0001	千葉県香取郡千代田町	千代田町内10番地	〒280-0001
				TEL 0479-68-2111(代)	

表紙